

令和4年4月30日

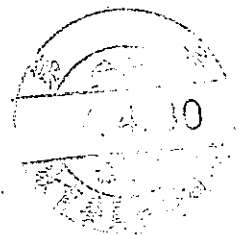
赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田 正明

令和3年度 赤穂市立歴史博物館の事業報告について

赤穂市立歴史博物館指定管理者管理運営基準に基づき、令和3年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



歴史博物館(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

開館日数 293日

区分	常設展			特別展			合計	
	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)
個人	大人 200	5,821	1,164,200	大人 300	2,194	658,200	8,015	1,822,400
	小中学生 100	368	36,800	小中学生 150	93	13,950	461	50,750
団体	大人 160	1,771	283,360	大人 240	668	160,320	2,439	443,680
	小中学生 80	115	9,200	小中学生 120	16	1,920	131	11,120
減	大人 120			大人 180				
	小中学生 60			小中学生 90				
免	大人 100	258	25,800	大人 150	185	27,750	443	53,550
	小中学生 50	11	550	小中学生 75	2	150	13	700
特別利用券利用者	大人 80			大人 120				
	小中学生 40			小中学生 60				
赤穂観光パスポート	大人 60			大人 90				
	小中学生 30			小中学生 45				
合計	大人 1,076	1,076		大人 176	176		1,252	
	小中学生 201	201		小中学生 87	87		288	
赤穂観光パスポート	大人 3	3		大人 101	101		104	
	小中学生			小中学生				
合計	通りやんせ	51	(@120×82) 9,840	通りやんせ	23		74	9,840
	大人 8,980	8,980	1,483,200	大人 3,347	3,347	846,270	12,327	2,329,470
合計	小中学生 695	695	46,550	小中学生 198	198	16,020	893	62,570
	計 9,675	9,675	1,529,750	計 3,545	3,545	862,290	13,220	2,392,040

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/25～5/11まで臨時休館。赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の開催

歴史博物館

特別展

期 間 令和3年11月20日(土)～令和4年1月18日(火)
名 称 「市制施行70周年記念協賛事業
令和3年度特別展 浅野家とその時代」展
内 容 市制施行70周年を記念して、現在につながる赤穂の基礎を築いた藩主浅野家とその治世を取り上げ、関連資料86点を展示
入館者数 3,545人

常設展展示替 令和4年2月25日(金)

「赤穂大石家文書巻と肉筆・日本画にみる赤穂義士」
前年に購入した「赤穂大石家文書巻」を初公開すると共に、新たに寄託された資料を中心に、赤穂義士を描いた肉筆画・日本画作品を展示

文化図書等の発行事業

(1) 特別展図録の発行

・歴史博物館特別展図録の発行

発 行 日 令和3年11月20日
図 書 名 「浅野家とその時代」
発行部数 600部

(2) ミュージアムグッズの製作

製作	グッズ名	製作数	備考
令和4年3月	忠臣蔵扇子 「三段目 足利殿中松の間の場」 (増刷)	400本	歴史博物館

赤穂市立歴史博物館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和3年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
歴史博物館管理収入	23,510,000	22,582,823	927,177	歴史博物館管理収入
施設利用料収入	2,191,000	2,392,040	△ 201,040	施設利用料収入
合 計	25,701,000	24,974,863	726,137	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	9,433,000	9,387,097	45,903	職員給 3人、諸手当
福利厚生費支出	2,398,000	2,357,385	40,615	共済費、社会保険料外
小 計	11,831,000	11,744,482	86,518	
物件費				
旅費交通費支出	103,000	32,760	70,240	旅費
消耗品費支出	710,943	710,943	0	施設管理用消耗品外
燃料費支出	43,000	35,631	7,369	ガソリン代
会議費支出	5,000	1,468	3,532	来客賄
印刷製本費支出	397,000	396,200	800	特別展ポスター・チラシ印刷外
光熱水費支出	3,613,017	3,125,891	487,126	電気代外
修繕費支出	819,040	819,040	0	収蔵庫空調機修理外
通信運搬費支出	358,000	336,687	21,313	電話料外
保険料支出	50,000	49,500	500	自動車損害保険料外
広告料支出	66,000	66,000	0	特別展広告掲載料
手数料支出	5,000	1,584	3,416	
委託料支出	6,473,000	6,469,874	3,126	清掃管理業務委託 1,262,580 特別展業務委託 2,241,400 建物管理業務委託外 2,965,894
使用料賃借料支出	1,150,000	1,120,010	29,990	特別展展示ケース賃借料外
原材料費支出	5,000	0	5,000	
負担金支出	18,000	16,393	1,607	県博物館協会負担金外
雑費支出	54,000	48,400	5,600	諸雑費
小 計	13,870,000	13,230,381	639,619	
合 計	25,701,000	24,974,863	726,137	

赤穂市立歴史博物館指定管理者自主事業収支決算書
(令和3年度分)

(単位:円)

収入

項目	予算	決算	差引	内訳
図書発行等事業収入	983,400	678,500	304,900	図書頒布収入
赤穂市補助金収入	0	275,335	△ 275,335	財団(一般分)補助金
合計	983,400	953,835	29,565	

支出

項目	予算	決算	差引	内訳
図書発行等事業費				
消耗品費支出	10,000	0	10,000	
印刷製本費支出	873,400	873,400	0	特別展図録、忠臣蔵扇子
手数料支出	40,000	20,435	19,565	図書等販売手数料
諸謝金支出	60,000	60,000	0	執筆等謝礼
合計	983,400	953,835	29,565	

令和3年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立歴史博物館				
所在地		赤穂市上仮屋916番地1				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地			終了日	令和6年3月31日
選定方法		公募・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目	
施設設置目的		郷土の歴史に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行い、市民の教養の向上、文化の発展に資するため歴史博物館を設置する。				
主な実施事業		(1) 実物、複製、模写、模型、図書、フィルム等の資料を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。 (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (4) 講演会、講習会、展覧会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。 (5) 他の博物館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3	目標	R4	目標	R5
a	利用者数	人	29,000	13,220	29,000		29,000	
b	稼働率	%		46				0
c								
d								
e								

3 指定管理業務にかかる収支状況

区分		令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度予算	
収入計		A	25,928,698	25,965,000	26,700,000
指定管理料			22,582,823	20,100,000	20,510,000
利用料収入		C	2,392,040	5,000,000	5,230,000
自主事業収入			953,835	865,000	960,000
その他			—	—	—
支出計		B	25,928,698	25,965,000	26,700,000
事業費			24,974,863	25,100,000	25,740,000
内、人件費		D	11,744,482	12,015,000	12,111,000
内、再委託料		E	6,469,874	6,238,000	6,681,000
自主事業費			953,835	865,000	960,000
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	9 %	19 %	20 %
人件費率		D/B	45 %	46 %	45 %
再委託費比率		E/B	25 %	24 %	25 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	B	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
	提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	B
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	B	C	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 令和3年度の入館者数は、昨年度から続いている新型コロナウイルス感染の終息が見込めない中第6波へと感染拡大が続いたが、ワクチン接種が進んだこともあり、昨年度に比べ7.3%増加したものの、依然としてコロナ感染拡大前の入館者数の5割にも達していない。今後も感染再拡大が予想されるが、引き続き感染防止対策を徹底するとともに、インスタグラムの活用など効果的に情報発信、PRを行い入館者の増加につなげたい。		
	【所管評価】 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中であるが、適切な施設管理に努めながら、兵庫県の対処方針に則った施設の運営と、特別展の実施等により来館者増に努めたが、まだまだ利用者数は少ないのが現状である。 引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中ではあるが、SNS等の活用により効果的なPRに努め、来館者増に向けての取り組まれない。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。